

おしゃべりコーナー

(目次)

< 今月の歌 >

「[ビリーブ](#)」

(竹の台・こっこばあば)

< ショート・ショート >

「[時計](#)」

(春日台・大西 No.20)

< 西神の花 >

「[つつじ](#)」

(竹の台・島田)

< 今月の歌 >

『ビリーブ』

作詞、作曲：杉本 竜一

<https://youtu.be/LICOcAybhik?si=ieuKEhFYo7izVOh9>



歌詞がすばらしい、子ども向けの歌です。歌詞、そして歌のころはまさに「憲法 9 条」だと勝手に思っています。

5 歳の孫が、最近この歌を覚えて「この歌がいちばん好き！」と言ってよく歌っています。「どこが好き？」と聞くと「ぜーんぶ好き！」と言ってました。

1998 年に発表された、NHK 番組「生きもの地球紀行」のエンディングテーマ曲。小学校の音楽教科書にも採用されて広く歌われています。

♪ たとえば君が 傷ついて
くじけそうに なった時は
かならずぼくが そばにいて
ささえてあげるよ その肩を

世界中の 希望をのせて
この地球は まわってる
いま未来の 扉を開けるとき
悲しみや苦しみが いつの日か
喜びに 変わるだろう

アイ ビリーブ イン フューチャー
信じてる

♪ もしも誰かが 君のそばで
泣き出しそうに なった時は
だまって腕を とりながら
いっしょに歩いて くれるよね

世界中の やさしさで
この地球を つつみたい
いま率直な気持ちになれるなら
憧れや 愛しさが 大空に
はじけて耀（ひか）るだろう

アイ ビリーブ イン フューチャー
信じてる

今未来の 扉を開けるとき
アイ ビリーブ イン フューチャー
信じてる

(竹の台・こっこばあば)

[目次へ](#)

<ショート・ショート> ちょっとした気づきやつがやき・・・

「時計」

大きな柱時計があった。
長い振り子がカチカチと左右に揺れ、
律儀に時を刻んでいた。

分針が止まると、時計のバネを
巻くのが子供の仕事だった。

今は壁掛時計、部屋ごとのデジタル時計、
駅やビルには大時計、
そして終末時計なるものまで、
人は時計に囲まれて生きている。

阪神大震災の5時47分で
止まったままのビルの時計もあった。

そして腕時計、
入学祝や勤続表彰では定番だった。

いまは時刻を知るのにはスマホで事足りる。
腕時計は高級アクセサリに変身してしまった。

時計に見守られながら
いつしか時計の命ずるままに
忙しく暮らしてきたのだと。

子午線の真上にある我が家の時計たちは、
みんな時間が少しずつ違って今を刻んでいる。



(春日台・大西 No.20)

[目次へ](#)

< 西神の花 >

「つつじ」

5月の初旬はつつじが道路沿いに咲きますが、中旬には旧暦
皐月にちなんだ「さつき」の赤い花が満開です。

毎年「この皐月ジュータンの上で寝たいなあ」と思いながら
横を歩いています。



(竹の台・島田)

[目次へ](#)